

者以盜論、主司卽言者不坐、又條云、毀伐樹木稼穡者准盜論、

按之、稱瓜菓之類卽雜蔬菜等皆是也、若於官私田園之内而輒私食者坐盜論、持去者計贓准盜論、並徵所費之贓各還官主矣、

〔大和本草一〕論物理○中

南方諸蠻、風土溫熱、故草木庶類繁殖、其奇卉珍樹、往々流來于中夏暨本邦者不寡矣、如木綿、籼米、番薯、鳳尾蕉、南瓜、諸香木是也、其餘尙爲多、北土則不然、由寒威嚴肅發生之氣少也。以上五條篇信○中略

日本ニ上世ナクシテ、後世ニ中華及外國ヨリ來ル物多シ、畜ニハ、羊、豕、鵝、鷺、植類ニハ、橘、柑、菊、水仙、菩提樹、鳳尾蕉、番蕉、沙糖、籼米、茶、煙草、番椒木、綿、秋海棠、朱櫻、南瓜、美人蕉、番薯、蠟梅、千日紅、迎春花、甘藷等不可枚記、就中籼米、木綿甚有益于民用、非他物可比、

〔地錦抄附錄三〕唐土より渡り来る花木草花、何れの時より渡りたるは玄らず、正保年中以後来るもの左りに記錄す、牡丹、芍藥、梅、椿等、花木草花の品類一通りづ、渡り来るを、和朝にて、其實生、年にかはり、花の品々、好土の庭々より出たるよし、今にそのごとく、年々實生多く、花葉かはりたるもの、各々名をよび愛賞せり、其品類花壇地錦抄大全に名記して、凡二千八百三十有餘品が中絶なく種植せば、万歳もありぬべし、草木の種生々絶ざるものにして、天地とともににつきず、三皇の時の花、今に莖葉花實かはらずして花開く、人は眺るほどありて後の人又ながむ、前の人古花といふ花、今の人珍花といひ、今は古花といふて捨たる花、後人初て見て珍花といふべし、万治寛文比渡り来る花中絶して、今又渡り来るを見て、今の人珍花といふがごとし、

〔桃源遺事五〕一西山公むかしより、禽獸草木の類ひまでも、日本になき物をば唐土より御取寄被成、又日本の國にても、其國に有て此國になきものをば、其國よりこの國へ御うつしなされ候覺し召末にしるす、